

平成 28 年度 小牧市民病院運営協議会 会議記録

日 時：平成 28 年 11 月 24 日（木） 午後 2 時

場 所：小牧市民病院 講堂（8 階）

出席者：〔委員〕谷口会長、堀尾委員、鈴木委員、後藤委員、吉田（友）委員、
木村委員、吉田（雄）委員、斎藤委員、舟橋委員
〔事務局〕林事務局長、泉病院総務課長、舟橋医事課長
波多野新病院建設推進室長、藤村病院総務課庶務係長、
舟橋病院総務課人事係長、横山病院総務課経理係長

欠席者：〔委員〕吉田（千）委員、仁川委員、櫻井委員

傍聴者：なし

議 題：（１）小牧市民病院の現況について
（２）平成 27 年度小牧市病院事業決算について
（３）新病院建設について
その他
（１）新公立病院改革プランの策定について

会議内容

【事務局】（林事務局長）

本日は皆様ご多忙の中、小牧市民病院運営協議会にご出席いただきましてありがとうございます。皆様方におかれましては、日ごろから小牧市民病院の運営に関しまして格別なご理解・ご協力を賜り、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。本日司会を務めさせていただきます、事務局長の林と申します。よろしくお願ひします。さて、この協議会ではありますが、小牧市民病院運営協議会設置条例に基づきまして小牧市民病院の運営についての調査・審議をするものであります。本日の議題につきましては、「小牧市民病院の現況について」「平成 27 年度小牧市病院事業決算について」及び「新病院建設について」であります。皆様方の忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。

なお、本日の配布資料といたしまして小牧市民病院運営協議会次第、資料 1 といたしまして小牧市民病院運営協議会委員の紹介、病院年報 2015、議題（3）の新病院建設に関する資料をお手元にご用意させていただきましたのでご確認をいただきたいと思ひます。

なお、本日の出席委員は現在のところ 8 名でございますので、会が 12 名ですのでこの会

議が成立をしております。なお、小牧市女性の会の役員吉田様、中部大学教授の仁川様、小牧市総務部長の櫻井様からはご欠席のご連絡をいただいております。あと、お一人ではありますが、斎藤様がまもなく到着されるというふうに理解しております。それでは、さっそくであります。資料1の小牧市民病院運営協議会委員名簿をご覧くださいと思います。ご覧いただきましたとおりでございますが、改選によりまして小牧市民病院の病院長の谷口委員、小牧市区長会連合会副会長の堀尾委員に変更となっております。これまで、院長を会長といたしまして会議を進めさせて頂きましたので、平成26年11月1日から平成29年10月31日までの委嘱期間において谷口院長を会長として進めさせていただきたいと思っております。まず最初に、谷口会長からからごあいさつをお願いしたいと思います。

【谷口会長】

皆さんこんにちは。病院長の谷口でございます。今年の4月に就任いたしましたので、この運営協議会には初めて出席させていただいております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。この、前のスペースから新しい病院の建設現場を見晴らすことができるのですが、今年の9月から工事に取り掛かっていまして、現在のところ隣接する上切公園、二棟あります看護師宿舎、二棟あります医師宿舎の撤去が進みつつあるところであります。年末年始ぐらいから基礎の工事にかかりまして、おそらく1年後のこの運営協議会のころには地上のほうに少しできてきている状況かなというように思っております。現在院内では新病院の運営に向けまして準備を進めているところであります。今後とも、病院にとって求められている高次医療を提供するべくしっかりと準備を進めてまいりたいと思っております。ただ、病院を取り巻く環境というのは必ずしもよろしくありませんで、今年は診療報酬改定の年でありました。一応医科に関してはプラス改定ではありましたがいろいろな事情がありまして、病院全体の、後ほど現況のほうで報告はありますが、増収にはなるのですが収益はあまりあがらないと、そういう感じになっております。私どものほうでもアンテナをはりまして、いろんな情報を入れながら、打てる手を様々なところで打って、少しでも運営が安定するようというように努力しているところでございますが、外部の方、この運営協議会の委員の皆様からもぜひとも、外部から見たいろいろなお知恵をお借りしまして、今後の病院の運営に生かさせていただきたいと思っておりますので、今日はどうぞよろしくお願い致します。

【事務局】（林事務局長）

どうもありがとうございました。

続きまして次第「3. 運営協議会委員の紹介」をさせていただきたいと思っております。資料1の小牧市民病院運営協議会委員名簿をご覧くださいと思います。先ほど申しましたとおり、名簿のとおりであります。改選によりまして小牧市民病院病院長の谷口委員、小牧市区長会連合副会長の堀尾委員が変更となっております。

前回の会議で欠席の方もおみえになりますので、出席委員のお名前をお呼びすることで紹介に代えさせていただきますと思います。

それではまず、最初に、会長の正面、廊下側の委員から順番にお名前をお呼びしますので、よろしくお願ひしたいと思います。

小牧市医師会会長の後藤様、同じく小牧市医師会副会長の吉田（雄）様、続きまして小牧商工会議所副会頭の鈴木様、小牧市区長会連合副会長の堀尾様、小牧市社会福祉協議会副会長の吉田（友）様、続きまして会長の右側になりますが、春日井保健所長の木村様、名古屋造形大学教授の斎藤様、小牧市健康福祉部長の舟橋様でございます。よろしくお願ひいたします。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。前列から、病院総務課長の泉です。新病院建設推進室長の波多野です。医事課長の舟橋です。後列から病院総務課人事係長の舟橋です。病院総務課庶務係長の藤村です。病院総務課経理係長の横山です。よろしくお願ひします。

それでは、続いて次第「4. 議題」及び「5. その他」の進行に入ってまいりたいと思います。進行につきましては会長にお願ひいたしたいと思います。

【谷口会長】

それでは次第 4、議事に入ります。まず議題(1)ですが「小牧市民病院の現況について」を事務局より説明をお願いします。

【事務局】（泉総務課長）

小牧市民病院の現況について、病院総務課長より説明をさせていただきます。

それでは、資料 2 の「経営状況表」をご覧ください。平成 28 年度上半期での病院事業収益は対前年比 100.3%、病院事業費用は対前年比 105.8%、収益と費用の差額は対前年比 50.9%となりました。

理由としまして、病院事業費用が 5.8 ポイントと伸びておりますが、これは、給与費の中で平成 27 年度において年度末の 3 月に一括して計上しておりました賞与・法定福利の各種引当金及び退職給付費等、平成 28 年度からは平準化し毎月計上していることによるものでございます。本年度も昨年度と同様の条件で比べますと、病院事業費用は対前年比 101.2%、収益・費用の差額が対前年比 91.7%となります。

平成 28 年の 9 月度におきまして、外来収益が対前年比 87.6%と 12.4 ポイント減少しておりますが、これは昨年度の 9 月より開始しました C 型肝炎の薬剤の薬品単価及び処方の減少が主な要因となっております。この C 型肝炎の薬剤は、一人の患者さんが使用する期間に上限があり、9 月度の受診者は昨年度の約半数となっております。また、薬剤の処方に伴い薬品費も対前年度比 76.7%と減少しております。

また、本年度は、紹介状を持たない初診の患者さんに対する選定療養費の負担の増額に

ついて、7月より開始をいたしました。救急外来への受診から当院へ入院される患者さんの人数に大きな変化はございませんが、8月・9月では救急車で搬送件数は減少しております。

入院の状況でございますが、昨年度の平均在院日数は、11日台でしたが、今年度は、10日台となっております、短くなってきております。

平成28年度の下半期につきましては、医業収益については、C型肝炎の薬剤により受診される患者さんが少なくなるにより昨年度に比べ減少し、併せて高額な薬品の使用量も落ち、昨年度に比べ医業費用も減少するというかたちになると予想されます。また、新病院の建設着工に伴い、平成28年度では看護師宿舎等の取壊しを行っており、経常的な病院の経営とは別に、大きな費用が発生し当年度の収支に影響を与えることが見込まれますが、経常的な病院の経営につきましては、昨年度同様の状況にあると見込んでおります。

以上で説明を終わらせていただきます。

【谷口会長】

この件につきまして、何かご質問等ございましたらよろしくお願いたします。

【堀尾委員】

8月・9月の救急外来が減少しているということがありましたけれど、私は外堀に住んでいるものですから、これだけ救急車が頻繁に来てね、そんなに減ってるのかなというのが実際の考えなんですけれども、何かそういう減っている原因ていうのか、やっぱり減ればそれだけ病院の収益が下がるということなので。救急の場合だと、小牧市民病院と春日井市民病院の両方に行くわけですが。

【谷口会長】

8月・9月に減りましたのは、やはり選定療養費の関係が大きいかなというふうに思っております。基本的に受診して頂いた場合にですね、そのまま入院になる方だとか、手術になる方だとかですね、あと外来で二時間も三時間もいろんな処置をしなければならない、いわゆるある程度重症度の高い方については、選定療養費はかからないというわけですが、例えば、三日前から風邪を引いていたとかですね、ちょっとした打ち身の方とか、そういう方に関しては選定療養費として5千円をいただくことになってます。あらかじめだいたいお電話で問合せをされる方が多いものですから、「それであれば他をあたるわ」みたいなかたちで、回避される方がいらっしゃるというふうには聞いています。ただ、私も人数が減ることに関しては、ちょっと気にはなるところではあるのですが、救急外来から入院される患者さん、ある程度一定以上の重症度のある患者さんに関しては、横ばいか、むしろ増えているぐらいですので、むしろ比較的軽い方が敬遠されて減っているんじゃないかと、そういうふうに判断しております。それであれば、収益等に関する影響も比較的少ないの

ではないのかと。ただ、人数的にはですね、1日あたりにして10人減るか減らないかぐらいですので、そんなに大きな減少には至っておりません。

追加いたしますと、昨年この会議でもお話がでたと思うんですが、C型肝炎の薬ですねハーボニー・ソバルディという薬ですが、あれは非常に高価ではあるんですが、C型肝炎についてはしっかり治ることが見込める薬ですので、それなりにお金はかかるけども、効果も非常に目に見えていいものが得られるという薬のようです。ある程度、一定期間が終わりますとそこで終了となりますので、今C型肝炎として把握されている方が、ひととおり治療を受けられると、治療回数が落ちてくるという事情がありまして、当院も10月の実績だとソバルディとハーボニーを処方されている方、だいたい4千万弱の薬剤費がかかっております。実は一年前ですとその2倍以上、1億超えるかとそういうふうになっておりますので、このあたりがだんだん減ってくるんじゃないのかなと思います。今、新聞を賑わせておりますオプジーボという薬ですね、あれについては今後適用の拡大に伴って患者さんが増えてくる可能性がありますので、今後そういった薬品費ですね、その増加はまた考えておかなければいけないかなと。

最初のご挨拶のところで申し上げましたけれど、今回の診療報酬改定というのは、一応増収にはいくんですが、いろんな病院としての対応を、例えば人を増やさなきゃいけないとかそういったことがありますので、費用のほうも増えるものですから、増収減益という傾向がでておりまして、これは全国的ないろんな統計をだしてもらえば、他の病院もよく似たような傾向があるようです。また、これは2年後がどうなるかは注意してみなければいけないと考えております。

その他よろしいでしょうか。

それでは次にうつらせていただきます。続きまして、議題(2)「平成27年度小牧市病院事業決算について」を事務局から説明をお願いします。

【事務局】(泉総務課長)

続きまして病院総務課長より説明させていただきます。

お手元の決算書及び決算参考資料は本年度の9月議会において決算認定をうけるため作成したものでございます。最初に決算書の20ページをお願いいたします。平成27年度小牧市病院事業報告事書の総括事項でございます。

国においては、患者ニーズに応じた病院・病床機能の役割分担や、医療機関間、医療と介護の間の連携強化を通じて、より効果的・効率的な医療・介護サービス提供体制の構築を掲げています。このような状況の中、尾張北部医療圏の中核病院としての使命を果たすとともに、地域住民の医療ニーズ等に対応するため、地域の医療機関との連携を強化し、救急医療やがん診療、高次医療など、質の高い医療を継続的に提供するよう努力してまいりました。

そこで、平成27年度における病院利用状況につきましては、入院延患者数が対前年度比

1,680人減の180,441人、外来延患者数が対前年度比2,057人減の362,656人となりました。経理状況につきましては、収益的収支では、総収益が対前年度比5.2%増の207億1,900万785円に対して、総費用が対前年度比5.7%減199億971万4,668円となり、差し引き8億928万6,117円の純利益となりました。

資本的収支では、資本的収入が対前年度比44.4%減の4億9,542万4,872円、資本的支出が対前年度比27.4%減の17億8,086万8,328円となりました。

それでは一旦戻って頂きまして、決算書の4・5ページをお願いいたします。

平成27年度小牧市病院事業決算報告書であります。この表は、消費税及び地方消費税込みの収益的収入及び支出でございます。収入、第1款病院事業収益の決算額は207億8,252万円余となりました。一方下段の支出、第1款病院事業費用の決算額は199億4,942万円余となりました。続きまして6・7ページをお願いいたします。資本的収入及び支出でございます、この金額も消費税及び地方消費税込みでございます。収入、第1款資本的収入の決算額は4億9,542万円余となりました。一方下段の支出、第1款資本的支出の決算額は17億8,086万円余となりました。

続きまして、8・9ページをお願いいたします。

こちらは、損益計算書でございます。この表は消費税及び地方消費税抜きの金額でございます。1の医業収益のうち(1)の入院収益は119億8,930万円余でございます。前年度に比べ1億5,327万円余、1.3%の増となりました。(2)の外来収益は70億3,581万円余でございます。前年度に比べ、8億8,759万円余、14.4%の増となりました。(3)のその他医業収益6億4,842万円余を含めた医業収益全体では196億7,354万円余で、前年度に比べ10億4,001万円余、5.6%の増となりました。

次に2の医業費用で主なものは、(1)の給与費88億6,198万円余で、前年度に比べ3億8,617万円余、4.6%の増となりました。また、(2)の材料費は58億3,880万円余で、前年度に比べ6億1,699万円余、11.8%の増となりました。さらに(3)の経費、(4)の減価償却費等を含めました医業費用全体では、190億5,571万円余で、前年度に比べ10億3,531万円余、5.7%の増となりました。これによりまして医業利益は6億1,782万円余で、前年度に比べ470万円余の増となりました。

次に、3の医業外収益につきましては(2)の他会計補助及び負担金、(3)の補助金、(4)の長期前受金戻入、(5)のその他医業外収益等で10億4,411万円余、前年度に比べ4,115万円余、4.1%の増となりました。次に4の医業外費用につきましては、(1)の支払利息及び企業債取扱諸費と(2)の雑損失を合わせまして8億4,646万円余、前年度に比べ7,377万円余、8.0%の減となりました。これによりまして医業収支と医業外収支をあわせました経常利益は8億1,548万円余であり前年度に比べ1億1,962万円余の増となりました。さらに特別利益・特別損失をあわせると当年度の損益は、対前年度比22億2,328万円余増の、8億928万円余の純利益となりました。これにより、前年度の繰越利益剰余金及びその他未処分利益剰余金変動額をあわせ、当年度の未処分利益剰余金は38億3,365万円余となりま

した。

続きまして 12 ページの剰余金処分計算書をお願いします。ただ今申し上げました、未処分利益剰余金を繰越利益剰余金として翌年度へ繰り越すものがございます。

続きまして 13 ページ・15 ページまでの貸借対照表をお願いします。資産合計並びに負債・資本合計は、354 億 7,839 万円余となりました。前年度に比べ 5 億 5,850 万円余、1.6% の増でございます。

なお、決算付属書類といたしまして、20 ページ以降に平成 27 年度小牧市病院事業報告書、キャッシュフロー計算書、収益費用明細書、固定資産明細書、企業債明細書を添付しております。また、決算参考資料につきましてもご参照いただきたいと思います。以上で、平成 27 年度の病院事業決算の説明とさせていただきます。

【谷口会長】

説明は終わりました。この件につきまして何かご質問、ご意見等ございましたらよろしくをお願いします。

【吉田（雄）委員】

健診センターの入はどこにはいつてくるのでしょうか。

【事務局】（泉総務課長）

健診センターの収益につきましては医療相談収益というところでございまして。決算参考資料をお持ちいただきたいのですが、決算参考資料の 2 ページ、その他医業収益の節で 3 番、医療相談収益というものがございます。で、こちらの決算額は 4 億 1,721 万円余とそういうふうになっております。

【谷口会長】

続きまして、議題（3）「新病院建設について」を事務局より説明をお願いします。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

新病院の波多野と申します。資料 1 の新病院の配置をご覧いただきたいと思います。上にあげてありますのが新病院の配置図であります、下段に表示していますが現施設との合成になっております。新病院につきましては、今の駐車場・公園あたりにですね、新病院棟を建設いたします。それから、職員宿舎あたりにサービス棟を建設いたします。④の北棟、緩和ケア棟、院内保育所につきましては既存を利用する計画であります。今ですね、院長からもお話がありました、9 月から工事が始まっていて、既存の建物としましては公園が撤去され、職員宿舎もほぼ撤去がされております。それで、12 月頃からですね掘削に入りまして、やはり 1 年くらいかけてですね、地下の工事が行われまして、地下 1 階の

工事が終わって、やっと鉄骨がたちあがるのが来年の今頃だというような計画です。工事につきましては、今後も地元と協議しながら安全対策に十分配慮し進めていきたいと思っております。

新病院棟につきましては、規模としまして地上 9 階建、鉄骨造で一部鉄筋コンクリート造、免震構造であります。サービス棟につきましては、地上 4 階建で鉄筋コンクリート造であります。③の立体駐車場につきましては鉄骨造の 2 階建てを、⑤のところですが、バスの専用のロータリーを考えておりまして、一般者のロータリーと分けて計画中であります。⑥の場所につきましては 24 時間営業可能な売店を、今と同じような形態とするために院外のほうに売店を計画いたしました。ヘリポートですが、現在も当院の南側 700M の位置にあります中島スポーツ広場を用意しておりますが、航空法の高さ制限だとか、周辺の住宅もあるということで、運用は同じ運用をさせていただいております。

次に、資料 2 の新病院の概要をご覧いただきたいと思っております。新病院につきましては、敷地面積といたしましては約 31,800 m²、建物面積としましては先ほどの新病院棟・サービス棟・北棟・緩和ケア棟・院内保育所も合わせて約 55,000 m²。食堂につきましては、新病院棟の中には外来カフェ、職員用の食堂につきましてはサービス棟におきます。あと、北棟にありますやすらぎはそのまま利用ということで、外来と職員の兼用です。それから、新病院では、エネルギーの供給につきまして、災害時の安定したエネルギーの確保をするために、エネルギーを作る部門を専門業者に委託することにいたしました。中部電力のグループ会社に委託することができましたので、開院の時にはその業者が入る予定であります。外来患者数につきましては 1 日約 1,300 人を予定しております。総合相談窓口としまして、新病院の 2 階のほうに患者総合支援センターを新設する予定であります。病床につきましては 520 床、個室につきましては約 40%の 206 室、多床室というのが、現在 6 床室が多いのですが、これも 4 床室という計画です。それから、12 室の手術室、現状 10 室ですが増設する予定となっております。裏面にですね、各階の主な構成を掲げさせていただきましたので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

パースを見ていただきたいと思っておりますが、上のパースにつきましては南東側から見た外観のイメージ図であります。下の 2 枚ですが、エスカレーターが 1 階・2 階・3 階とありますが、左側のほうが 1 階からのホールのイメージ、右側のほうが 2 階のロビーのイメージであります。2 枚目には、診察室・病棟のほうのデイルーム・スタッフステーション・4 床室のイメージを載せさせていただいております。

実施設計の概要版をご覧いただきたいと思っております。新病院棟の階構成ということで、1 階から 9 階をイメージとして載せさせていただきました。新病院につきましては、地下がございません。1 階につきましては救急と放射関係、薬局というのを配置しておりまして、外来につきましては 2 階と 3 階となっております。昇降設備につきましては 1 階～2 階、2 階～3 階ということでエスカレーター、外来のところに、1 階から 3 階までに外来専用のエレベーター。それから、中央に外来専用のエレベーターとスタッフ専用のエレベーターを分

類して計画しております。外来につきましては、2階・3階ということで、2階の総合受付のあたりにですね、総合支援センターというものを配置しております。3階につきましては、人工透析・外来化学療法・リハビリというものを集合して配置しております。4階につきましては手術部門の関係があるということで、ICU・CCU・HCU・救急病床・臨床工学・病理検査ということで、手術室に関連する部署を配置しております。5階から9階が病棟階になってまして、5階につきましては分娩部門と不妊外来というのもここで対応させて頂いております。それから、新生児室・NICU・GCUもこの階に配置しています。6階から9階につきましては基準病棟階の病床であります。

2ページ目につきましては、建築の概要になっております。各棟の面積と、診療科が載っておりますが、診療科につきましては現状と変わらない計画となっております。

続きまして3ページ目ですが、配置計画になっています。この図面でいきますと立体駐車場③の部分が、将来北棟を建替えるというような想定の中なかで、ここで建替えたほうがいいのではということで、この部分で建替えの想定をしています。右側につきましては、災害時の活動エリアということで、トリアージをする部門というのを明記させて頂いております。現在書かれておりますのは、災害対策本部につきましてはサービス棟の2階ということで考えております。

続きまして4ページ目です。4ページ目につきましては、断面構成をつけさせていただきました。右のほうから立体駐車場の図面ですが、立体駐車場から新病院棟へ渡るのは2階でつながりまして、1階2階で渡れるというようになってます。新病院棟からサービス棟につきましては2階3階ということで渡り廊下を設置いたします。それからサービス棟から北棟につきましても2階3階ということで、渡り廊下でつなげます。右側に安全対策としてですね、免震の説明をさせていただいております。その下につきましては、セキュリティということで、今回は三段階のセキュリティを考えております。一般のレベル、職員のレベル、特定職員のレベルということで、基本的にはICカード・指紋認証ということで考えております。

5ページをご覧いただきたいと思っております。新病院棟の1階から3階の平面計画になります。昇降設備につきましては、青色が一般用、黄色の分がスタッフ用ということで分離した昇降設備になっています。一番左側に放射線治療という部分がありますが新病院につきましては免震構造となっておりますが、放射線部門につきましてはかなり重いということがありまして、免震としては、変震してしまうということで治療部門だけは耐震構造ということで設計しております。赤いセキュリティライン、青い時間外セキュリティラインというのがありますが、この赤いラインにつきましては常時閉鎖してICとかで出入りする、青い部分は時間外についてシャッター等を落としてセキュリティをするという予定で考えております。

2階につきましては、外来部門ですが、総合受付のところに患者総合支援センターということで、医療相談する人に8ブース、一般的な窓口として7ブースというようなことで考え

ております。外来につきましては2階の南にブロック外来ということで特殊診療以外のところを総合的に集めまして、診療・診察とか治療部門をなるべく統一するようなことで南側にさせていただいております。

3階につきましては、北側の、東側にですね、人工透析・化学療法・リハビリ、大空間の部屋を集めまして将来の機能転換に対応できるようにこの場所に一箇所に集めさせていただきました。リハビリの南にあるのが外来カフェということで、軽食程度ができるような計画をしております。

6ページにつきましては、病棟階・オペ室になりますが、4階は手術室ということで12室、手術室につきましては放射線の透視装置を併用しましたハイブリッドの手術室を考えておまして、一番のところを適用と思っております。集中治療室につきましては、現在30床ですが38床に拡大して、内のほうに臨床工学、南側に病理検査という緊急手術関連の部門をこの階に配置しております。

5階から9階は病棟階です。5階につきましては、分娩部門と小児治療ということでNICU・GCU、外来部門である不妊外来だけここに関連するため、ここに配置しております。病棟につきましては、中央のエレベーターホールに対して2病棟構成になっておまして、5階につきましては、不妊治療と考えまして産婦人科の混合病棟、あと北側は小児科の混合病床です。6階から9階につきましては一般病床として関連した科を配置して計画しているところであります。

続きまして7ページ目です。7ページ目にはサービス棟の平面が書かれております。1階につきましては機械室、それから講堂、これは災害にも利用できるように医療ガスや非常コンセントを設置しながら200人収容できる講堂を考えております。2階につきましては栄養給食、3階が医局・管理諸室、4階が、非常電源があります電気室。7ページ右側は構造計画、同じく8ページは建築計画、9ページは機械設備計画となっております。

新病院につきましては、現在9月から着工いたしまして31年の4月に建物を完成させたいと思っております。移転の準備期間を3ヶ月、4ヶ月想定しまして、新病院への移設を31年度の早い時期にということで今想定しております。新病院ができますと、北病棟から医療施設が移転するというので、その後事務部門に改修するという工事がありまして、北棟の改修が終わりますと、事務部門が北棟に移りまして、やっと既存の病棟が解体できるという形になります。既存の病棟を解体する予定としましては、32年4月を想定しております。既存の病棟解体後に立体駐車場、公園の整備ということも出来るようになってきまして、全体的な事業が完了する予定としましては33年度ということに今現在なっております。以上、簡単ではありますが説明とさせていただきます。

【谷口会長】

以上で説明が終わりましたが、ただ今の件につきまして何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

最後のスケジュールのところにててまいりましたが、新病院の建設が終わりました後もいろいろ現病棟の解体だとか、駐車場の建設、公園の建設ですね、そういうものがありますので、先ほど最初の 1 ページにててきました、こういうような全容がみえるのには、まだ、それ以降 2 年くらいかかってしまうような、そういう事情がございます。当然、分かりづらいとこととかあったかもしれませんので、もしよろしければご質問等いただけたらと思いますがいかがでしょうか。

【吉田（友）委員】

市民から期待されるような病院であって、安心安全、いわゆる病院の理念とか基本方針、かっこうばかり良くてもダメですから、やはりお医者からスタッフ、それで職員一同ですね、一丸となってがんばっていただきたい。

古いから、もちろん新しくされる、非常にお金があるということかもしれませんが。(現)病院が古いからこのままでいいだろうと(ならず)、やはり衛生面とか病室の掃除とかは、カーテンのところに埃がたまっていたということも聞きましたので。個室は別ですけど、お湯を使って体を拭くとか、シャワー室の施設とかのタイルも汚いなということも言うておりましたので。建替えるから当たり前だよということではなくて、やはりきれいにお掃除をして置いていただければと、壊すからいいじゃないではなくて、きちんと最後まで管理していただければと思います。

【谷口会長】

清掃等に関しては、日々いろいろなご意見もいただいたりもして、その都度対応はしているところではございますが、また及ばないところがあるようでしたら、お申し付けいただければ、さっそく対応させて頂くようにしたいと思います。普段から職員の教育も必要ですので徹底したいと思います。

【吉田（友）委員】

スタッフは非常に一生懸命ね、やってくさるという姿がありありと感じられますので、そういう姿勢を崩さないで、忙しいものですから大変かもしれませんが、気を許さずにお願ひしたいと思います。

【木村委員】

いくつか確認させていただきたいのですけれども。6 ページ、不妊外来・分娩というところがございますが。前からの懸念事項なんですけれども、構造的にはあまり関係ないかもしれないのですけど、分娩台と不妊用の採卵台というのは独立した構造にして頂きたいということはちょっと念をおさせてもらいたいです。

免震構造でしたね。このゴムどこ製ですか。従来ゴムのせいで、公立病院で、かなり、

十数件だったと思いますけど。とにかく土台ですので。ゴムの劣化というのはだいたい何年ぐらいですか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

メーカーがまだ決まっているわけではありませんが、今建物は60年という話で、実際免震ができてまだ60年経ってないという話なのですが、耐用年数もつということでは聞いております。取替えができるという設備ではあります。免震だけ取り替えることもできるのですが、建物と同じ耐久年数だろうということでは聞いておりますが、まだ実績が60年もないもので分からないのですが。

【木村委員】

もう1点なのですが、今感染症が病院の収益を相当損するということが、この前の久留米大学の院内感染でも明らかなのですが。感染者、または感染が疑われる患者の導線が、外部からと内部からの導線がはっきりしないんですね。これはちょっと明らかにして感染防御には慎重を期していただきたいということ。

あと、駐車場は何台収容予定ですか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

想定では敷地内に730台で設ける予定です。

【木村委員】

これに関しても、今の名大・名市大の周辺の国道・県道を見れば毎日分かると思うのですがけれども、大変、あの渋滞しているのですね。いわゆる病院の敷地外に迷惑を及ぼしている点が多々ありますので。これも、なるべくそういうことがおきないよう、極力。これ永続的になっちゃいますので、名市大もこれ、いつ解決するのかと、毎年毎年ひどくなる一方です。最初から良く考えて、導線を考えていかないと、これは近隣どころか、かなり周辺に迷惑を及ぼしますので、これもよろしくお願ひしたいと思います。

【谷口会長】

免震ゴムについては、大きな地震があると変えなければいけないものですか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

大きい地震があったときに点検して、変形していると変えるという話に。

【谷口会長】

感染症については、やはりその移動ルートについては、もう少しつめる必要があるかなと。各病床、内科系の病床を中心ですけど陰圧室を必ず設けるかたちで、万が一の場合も対応できるようにはしたいというふうには考えております。

【吉田（雄）】

駐車場は、現在は何台ですか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

現在は 655 台です。

【吉田（雄）】

ちょっと増えるというわけですか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

そうですね。現在院内は百何十台しかなくて、院外がほとんど。今回は院内に 700 台設けようと。

【吉田（雄）】

立体というのは、自走式の 2 階ということですか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

そうですね。2 階建てで、三層になっております。1 階・2 階・屋上というような。

【吉田（雄）】

今の駐車場のこの車線の幅ですけれども、他の駐車場に比べてちょっと狭めのような気がするのですが。この新しいところはどういう幅にされるのでしょうか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

一般的には、2.5 の幅の 5m というのがよくある一般的な公共施設の幅ですので、その幅を考えております。

【吉田（雄）】

今の状況より、もうちょっと広くなったら停めやすいかなと思うんですが。

【谷口会長】

あと台数との兼ね合いで、広くなりますとその分台数が減ってしまいます。ただ、院内が730台ということは、今の院外ですね、南の有料駐車場とかは別になりますので、台数的にはかなり増えるかなと。院外をどのくらい継続するかにもよると思うのですが、一応そういうふうを考えております。また、幅については一部広い幅にするのかどうかとかまた後日検討したいと思います。

【斎藤委員】

聞き漏らしたのかもしれませんが、診療科の29科というのは現状と変更がないと。病床数についても現在とどのように違うのかをちょっと教えて頂けますか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

病床数につきましては、現在は558床で、新病院で520床というかたちです。

【吉田（友）委員】

駐車場の話がでましたが、軽専門と普通乗用車専用と分けられたら多少はいいんじゃないでしょうか。遅いかもしれませんがどんなものでしょうか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

まだ、設計についてはこれからですので、まだ建物は3年、4年後の話でのすので。

【堀尾委員】

駐車料金はいくりにされるのですか。今と変わらないのですか。

【事務局】（林事務局長）

基本的にはですね現行と同じを考えておりますが、まだこれも具体化されておきませんので、今後検討して、場合によっては上げさせて頂く場合もありますし、無料というのも考えられるかと思いますが、今のところは現行の料金体系を踏襲していきたいと。院内で確保していきたいということもありますので、8時間まで100円、それを超えると1,000円という、そんなような体系になっておりますので、それぐらいになるのかなと、まだこれも必ずしも決定したわけではありませんが、そういうような考えでおります。あんまり安くすると無断駐車が増えるということもありますし、高くすると、という話もありますので、周辺の病院の事例も参考にしながら、また今後考えていきたいなと思っております。

【堀尾委員】

名古屋でも 3 時間までだったら、受診受けた方は無料とかそういうカードもありますから。

それと、いま、いろいろ点滴で、針を刺さされたとか、そういう話も出ておりますけど、今後の新病院では防犯カメラ・IC カード管理によるセキュリティを向上と書いてありますが、IC カードというのは入院患者さんにもつけられるのですか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

今の段階では職員ですが、これから運用を、開院に向けて運用をやっていくわけですが、その時ですね、代理で求められるとすると、ひょっとしたらそういうことも考えられないこともないのですが。

【堀尾委員】

特に先ほど言われた感染症の問題とか、そういう重症の方の場合もやって頂けると。とにかくセキュリティだけは、せっかく新しくなるわけですから。

【谷口会長】

最近いろんな病院でいろんな事故が報道されておりますので。今の病院の体制ですと、犯罪をしようと思って入ってこられるとなかなか防ぎようがないというところがありますから、ある程度セキュリティは、ちょっと厳しくせざるをえないかなというふうに考えておまして、夜間は少なくとも、インターホンとかで相手を確認してからでないとかに入れないとかですね、そういう体制になるんじゃないかなと、まあ職員は IC カードで入ると、そういうことを想定しております。今も、少しずつ防犯カメラを、防犯カメラはあくまでも記録が出来るということで、抑止力以上のものはありませんので、今はそういったことで対応するとか、施錠の時間を厳密にするとかですね、そういったことでしか対応できてないんですが、新病院ではまたさらにセキュリティを厳しくするようには考えておりません。

【吉田（雄）委員】

喫煙コーナーというのは一切無いんですか。

【谷口会長】

当院はですね、がん診療連携拠点病院でもありますし、あと禁煙外来もっておりますので、敷地内は禁煙です。ですから一切設置は致しません。それは現在も同じであります。

【吉田（雄）委員】

禁煙で近隣からトラブルはありませんか。ちょっと外へでてタバコを吸って、道路で吸っているとか。

【谷口会長】

今のところそんなに表立ったことは聞いてはいませんが。ただ、ときどき患者さんの中には敷地内で吸ってみえる方があるので、そういう方には適宜個別に指導するという状況です。

【谷口会長】

続きましては、「5. その他」に入りたいと思います（1）「新公立病院改革プランの策定について」を事務局から説明をお願いいたします

【事務局】（泉総務課長）

当院は、平成 21 年 3 月に、経営の効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直しの 3 つの視点をもりこんだ「小牧市民病院改革プラン」を策定しました。このたび平成 26 年 8 月の総務省通知において、平成 28 年度中に「新公立病院改革プラン」の策定要請がございました。内容としまして、前改革プランの 3 つの視点と、新たに「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」を加えた 4 つの項目となりました。地域における公立病院の求められる役割はさまざまありますが、2025 年に向けて進む人口減少と急速な高齢化や疾病構造の変化、必要とされる医療需要や必要病床数など、県の地域医療構想を踏まえ、目指すべき小牧市民病院の医療提供体制を実現するための役割を示すこととされています。

日程としまして、今年度中に「新公立病院改革プラン」を策定しまして、愛知県に提出します。その後、平成 30 年には、このプランの評価を実施するため、運営協議会の委員の皆様におかれましては小牧市民病院改革プランの評価委員としてご協力をいただき、評価をお願いしたいと考えております。よろしく願いいたします。以上で説明を終わります。

【谷口会長】

現在策定中でありますので。また、その評価に関しては皆様にご協力をいただきたいというお願いでありました。

続きまして（2）のその他ですが、今日せっかく委員の皆様にご集まいただきましたので、議題以外で、何か市民病院に関してお気づきの点とかございましたら、ご意見を伺えますと幸いですがいかがでしょうか。

【木村委員】

雑談の域に入るかもしれないですけど、新病院の給食に関しては北館からのコンテナで運ぶということでしたね。だいたい、第1号からやって患者にわたるまでをどのくらいでシミュレーションされているのですか。

【事務局】（波多野新病院建設推進室長）

ちょっとそこらへんまでは把握はしておりませんが、今、栄養給食のほうでワーキング等やっていますが。その数字までは把握はしていません。

【木村委員】

あの、けっこうです。ちょっと残念かなという、やはりコンテナでやるというのは、どうしても途中で冷めちゃいますし、温かいのが患者になかなかいきにくい、いきわりにくいということで、ちょっと快適性からは、ちょっと残念だったんですけども、これは予算の関係で致し方ないということだったんで。食事というのは、患者の一番の楽しみであるかもしれないので、快適性を保つためにも、何とか工夫してオンタイムで給食されるようにお願いしたいです。

【事務局】（林事務局長）

給食の配膳につきましては、当院保温カート、温と冷ですね、分けたカートを用意しておりますので、そちらで提供させて頂くこととなりますので、そんなに冷めるということは考えておりません。

【谷口会長】

やはり可能であれば、病棟単位で給仕ができれば一番いいかなというふうに思っておりますが、なかなか病院の機能と面積との兼ね合いがありまして、このような方式になっております。ただ、今、事務長から話がありましたように、移動時のカートもずいぶん最近ではよくなってるようですので、冷たいものは冷たいものそのまま移動ができるとかいうタイプがでてくるようですから、そういったものも利用してなるべくいい状況で食事をお出しできるような体制をこれからも整えたいと思います。

【谷口会長】

よろしいですか。それでは以上で議事を終わります。では、進行を事務に戻します。

【事務局】（林事務局長）

長時間にわたりまして、どうもありがとうございました。これをもちまして、今年度の運営協議会を終了とさせていただきます。次回につきましては、また来年度を予定しております。先ほど申し上げましたような評価委員会ということも考えておりますのでご協力をいただきたいと思います。

それでは、これをもちまして小牧市民病院運営協議会を終了とさせていただきます。